

平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年10月29日

上場会社名 株式会社ヒガシトウエンティワン 上場取引所 東  
 コード番号 9029 URL <http://www.e-higashi.co.jp>  
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 金森 滋美  
 問合せ先責任者(役職名) 取締役執行役員管理本部長 (氏名) 中橋 俊和 (TEL) 06-6945-5611  
 四半期報告書提出予定日 平成24年11月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	9,035	0.1	405	22.5	417	25.3	224	24.0
24年3月期第2四半期	9,023	3.6	330	5.2	332	7.1	180	24.7
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
25年3月期第2四半期	39.00		—					
24年3月期第2四半期	31.46		—					

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	10,441	5,286	50.6
24年3月期	11,700	5,161	44.1

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 5,286百万円 24年3月期 5,161百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	17.00	17.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	17.00	17.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,400	0.3	750	3.9	740	0.1	394	7.7	68.66

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、【添付資料】4ページ「サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期2Q	5,750,000株	24年3月期	5,750,000株
25年3月期2Q	205株	24年3月期	205株
25年3月期2Q	5,749,795株	24年3月期2Q	5,749,924株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあつたての注意事項等については、【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性情報(3)業績予想に関する定性情報」をご覧ください。
- ・当第2四半期の決算説明会は開催いたしません。決算補足説明資料については平成24年12月上旬に当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

	頁
1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期財務諸表 .....	5
(1) 四半期貸借対照表 .....	5
(2) 四半期損益計算書 .....	7
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、震災復興の動きに伴い緩やかながら回復傾向がみられるものの、欧州の財政危機や円高の長期化、国内の電力供給問題及び消費税増税や雇用・社会保障などの将来への不安により、景気の先行きは依然として不透明な状況で推移しております。

当貨物自動車運送業界においても、国内貨物輸送量は依然低迷しており、加えて燃料価格の高止まりや価格競争の激化等もあり厳しい状況が続いております。

このような状況の中、当社は新規荷主の開拓及び既存荷主への深耕拡大に努めるとともに、内部管理体制の一層の充実と安全対策にも注力してまいりました。

当第2四半期累計期間の業績につきましては、商品販売事業売上が大幅減となったものの、運送事業での新規案件獲得等により、売上高は90億35百万円(前年同期比0.1%増)となりました。

利益面につきましては、売上総利益は17億22百万円(同 5.6%増)となり、売上の増加に伴い販売費及び一般管理費が増加したものの、営業利益は4億5百万円(同 22.5%増)、経常利益は4億17百万円(同 25.3%増)、四半期純利益は投資有価証券評価損19百万円の計上により2億24百万円(同 24.0%増)となりました。

セグメントの業績は以下のとおりであります。

#### ①運送事業

当事業につきましては、売上高は63億99百万円(前年同期比6.5%増)となり、セグメント利益は4億96百万円(同 23.8%増)となりました。これは事務所移転業務の獲得並びに店舗設備関連業務の大型案件の受託や大手顧客のシステム入れ替え業務等によるものです。

#### ②倉庫事業

当事業につきましては、売上高は14億18百万円(前年同期比1.2%減)となり、セグメント利益は2億76百万円(同 12.9%減)となりました。これは文書保管業務の売上が減少したことによるものです。

#### ③商品販売事業

当事業につきましては、売上高は6億55百万円(前年同期比35.9%減)となり、セグメント利益は35百万円(同 13.0%減)となりました。これはO A トナー販売が大手顧客のシステム入れ替えに伴い減少したことや、梱包資材の販売が減少したことによるものです。

#### ④その他

当事業につきましては、売上高は5億62百万円(前年同期比1.4%増)となり、セグメント利益は49百万円(同 33.8%増)となりました。これは駐車場事業が減収となったものの、福祉用具レンタル業務の売上が増加したことによるものです。

### (2) 財政状態に関する定性的情報

当第2四半期会計期間末の総資産は104億41百万円となり、前事業年度末に比べ12億59百万円減少いたしました。資産の主要科目の増減は、営業未収入金が回収により7億10百万円減少し、商品が2億30百万円減少いたしました。

また、負債は51億54百万円となり、前事業年度末に比べ13億84百万円減少いたしました。負債の主要科目の増減は、営業未払金が10億86百万円減少いたしました。

純資産は利益剰余金の増加等により前事業年度末に比べ1億24百万円増加して52億86百万円となり、自己資本比率は6.5ポイント増加し50.6%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、営業活動により得られた資金が1億66百万円あり、投資活動により使用した資金が13百万円、財務活動により使用した資金が3億33百万円となりました。その結果、当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物は7億24百万円(前年同期比16.7%減)となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により得られた資金は、1億66百万円(前年同期は3億36百万円)となりました。これは主に税引前四半期純利益3億95百万円、減価償却費1億31百万円、売上債権の回収による減少額7億6百万円の収入と、仕入債務の支払による減少額10億91百万円の支出によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により使用した資金は、13百万円(前年同期は27百万円の収入)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により使用した資金は、3億33百万円(前年同期は3億92百万円)となりました。これは主に長期借入金の返済による支出3億31百万円によるものです。

(3) 業績予想に関する定性的情報

当第2四半期累計期間における業績は、対前年比で増収増益で推移しておりますが、通期業績予想につきましては、当初の予想から大きく変化するとは考えていないことから、現時点では業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

当事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表  
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成24年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,158,155	950,497
受取手形	393,278	397,245
営業未収入金	2,874,436	2,164,318
商品	252,146	21,923
その他	242,421	246,282
貸倒引当金	△26,141	△20,492
流動資産合計	4,894,295	3,759,775
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,803,001	2,721,662
機械装置及び運搬具(純額)	89,437	95,963
土地	2,788,437	2,788,437
その他(純額)	55,615	58,731
有形固定資産合計	5,736,491	5,664,794
無形固定資産	124,740	125,481
投資その他の資産		
投資有価証券	110,856	92,074
差入保証金	605,391	608,397
その他	282,868	255,776
貸倒引当金	△53,793	△65,117
投資その他の資産合計	945,322	891,130
固定資産合計	6,806,554	6,681,407
資産合計	11,700,849	10,441,182
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形	48,079	40,921
営業未払金	2,012,251	926,068
短期借入金	950,000	1,196,000
1年内返済予定の長期借入金	627,380	592,480
未払法人税等	208,210	178,585
賞与引当金	186,731	174,054
その他	508,530	390,886
流動負債合計	4,541,183	3,498,998
固定負債		
長期借入金	1,457,750	1,161,510
退職給付引当金	191,346	174,814
役員退職慰労引当金	148,380	119,720
その他	200,377	199,911
固定負債合計	1,997,853	1,655,956
負債合計	6,539,037	5,154,954

(単位：千円)

	前事業年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成24年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	333,150	333,150
資本剰余金	95,950	95,950
利益剰余金	4,730,595	4,857,083
自己株式	△91	△91
株主資本合計	5,159,604	5,286,092
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	2,208	135
評価・換算差額等合計	2,208	135
純資産合計	5,161,812	5,286,227
負債純資産合計	11,700,849	10,441,182



(2) 四半期損益計算書  
第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	9,023,059	9,035,849
売上原価	7,391,901	7,313,646
売上総利益	1,631,157	1,722,203
販売費及び一般管理費	1,300,578	1,317,165
営業利益	330,578	405,037
営業外収益		
受取賃貸料	21,606	20,806
その他	18,650	21,286
営業外収益合計	40,256	42,092
営業外費用		
支払利息	29,188	21,131
賃貸費用	8,190	6,848
その他	539	1,940
営業外費用合計	37,918	29,920
経常利益	332,916	417,209
特別利益		
投資有価証券売却益	6,000	—
特別利益合計	6,000	—
特別損失		
固定資産除却損	4,435	2,010
投資有価証券評価損	—	19,312
会員権売却損	—	412
会員権評価損	100	—
特別損失合計	4,535	21,735
税引前四半期純利益	334,380	395,474
法人税等	153,480	171,240
四半期純利益	180,900	224,234

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	334,380	395,474
減価償却費	135,167	131,675
売上債権の増減額 (△は増加)	485,655	706,151
仕入債務の増減額 (△は減少)	△421,141	△1,091,142
その他	11,872	241,831
小計	545,934	383,989
利息及び配当金の受取額	4,088	3,564
利息の支払額	△27,424	△20,347
法人税等の支払額	△185,680	△200,582
営業活動によるキャッシュ・フロー	336,918	166,624
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△162,000	△162,000
定期預金の払戻による収入	189,000	189,000
有形固定資産の取得による支出	△44,607	△44,950
その他	44,868	4,121
投資活動によるキャッシュ・フロー	27,261	△13,828
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	—	246,000
長期借入金の返済による支出	△263,080	△331,140
その他	△129,756	△248,312
財務活動によるキャッシュ・フロー	△392,836	△333,452
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△28,656	△180,657
現金及び現金同等物の期首残高	898,219	905,055
現金及び現金同等物の四半期末残高	869,562	724,397

(4) 継続企業の前提に関する注記

当第2四半期累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

該当事項はありません。